

平成26年度 決算の概要

1 普通会計決算

地域経済の底上げ、産業振興、移住・定住対策や社会保障の充実などの重点施策に取り組む一方、九州北部豪雨災害等の復旧費の減等により歳入歳出規模は縮小。

行財政改革の成果により実質収支は黒字を確保し、各種指標等は概ね改善。

- 歳入 21,292,434千円(対前年度△1,242,722千円、△5.5%)
 - ・災害復旧事業や国の緊急経済対策の縮小に伴い、国庫支出金等が減少。
 - また、地方交付税や地方債も減少
- 歳出 20,201,218千円(対前年度△1,352,286千円、△6.3%)
 - ・九州北部豪雨災害等の災害復旧事業費減(△1,421,980千円)等により減少。
- 実質収支 H25 887,326千円(黒字) → H26 886,886千円(黒字)
- 単年度収支 H25 69,787千円(黒字) → H26 △440千円(赤字)
- 実質単年度収支 H25 474,802千円(黒字) → H26 149,949千円(黒字)
- 自主財源の比率
 - ・自主財源の比率が23.0%で、国・県への依存度が高い。
 - 自主財源比率 H25 20.1% → H26 23.0%
- 経常収支比率は2年連続の改善
 - ・義務的経費の比率は53.5%と依然財政の硬直性が高い。
 - 経常収支比率 H25 87.4% → H26 87.3%
- 地方債現在高は5年連続で減少し対前年度比 △1.5% 過去最低に
積立金現在高は2年連続で増加し対前年度比 2.4% 過去最高に

2 健全化判断比率及び資金不足比率

- 実質赤字比率及び連結実質赤字比率はなし。
- 実質公債費比率(5.2%)は7年連続で改善し前年度比 △1.0% 過去最低に
- 将来負担比率(11.8%)も7年連続で改善し前年度比 △11.6% 過去最低に
- 資金不足比率が生じている公営企業会計なし

平成26年度 普通会計の決算概要

(普通会計を構成する3会計：一般会計、市立こども診療所特別会計、長湯温泉療養文化館特別会計)

1. 決算の概要

(単位：千円、%)

区 分	H26年度 決算額	H25年度 決算額	増減 (H26-H25)
歳入総額 a	21,292,434	22,535,156	△ 1,242,722
歳出総額 b	20,201,218	21,553,504	△ 1,352,286
形式収支 (a-b) c	1,091,216	981,652	109,564
翌年度繰越財源 d	204,330	94,326	110,004
実質収支 (c-d) e	886,886	887,326	△ 440
単年度収支 f	△ 440	69,787	△ 70,227
財調積立金 g	255,608	203,628	51,980
繰上償還金 h	69,781	201,387	△ 131,606
積立金取崩額 i	175,000	0	175,000
実質単年度収支 (f+g+h-i)	149,949	474,802	△ 324,853
標準財政規模	11,013,541	11,238,353	△ 224,812
実質収支比率	8.1	7.9	0.2

3. 積立金の状況

(単位：千円)

区 分	H26年度 決算額	H25年度 決算額	増減 (H26-H25)
財政調整基金	3,761,706	3,681,098	80,608
減債基金	519,575	376,414	143,161
小計	4,281,281	4,057,512	223,769
その他特定目的金	5,577,371	5,568,946	8,425
合計	9,858,652	9,626,458	232,194

2. 財政構造の弾力性

(単位：千円、%)

区 分	H26年度 決算額	H25年度 決算額	増減 (H26-H25)
義務的経費構成比	40.1	39.2	0.9
人件費	19.2	17.9	1.2
経常収支比率	87.3	87.4	△ 0.1
人件費	29.4	30.9	△ 1.5
扶助費	5.1	5.3	△ 0.2
公債費	19.1	19.7	△ 0.6
実質公債費比率	5.2	6.2	△ 1.0
地方債現在高	16,687,090	17,751,795	△ 1,064,705
現債高倍率	1.515	1.580	△ 0.065

※経常収支比率は、臨時財政対策債を経常一般財源に加えた数値。

	H26年度 決算額	H25年度 決算額	増減 (H26-H25)
【参考】将来負担比率			
将来負担比率	11.8	23.4	△ 11.6

4. 分析コメント

- ①実質収支は886,886千円で、前年度の887,326千円と比較すると440千円の減少となっています。このうち1/2を下回らない額を、基金条例により財政調整用基金に積立なければなりませんので450,000千円の積立を行います。
- ②経常収支比率は、87.3%で前年度の87.4%から0.1%の改善です。人件費と公債費の負担が減少したことによるものですが、人件費については定年退職が5名だったことによるもので、平成27年度は13名ですので今年度は増加が見込まれます。定数内の職員数は、確実に減少していますが社会保障関係の負担増の影響で、共済費については負担額が思った程、減少していないのが実情です。今後も、定員管理計画以上の人員削減が必要と思われます。
- ③実質公債比率は5.2%で前年度の6.2%から1.0%の改善です。地方債の繰上償還の実施などで公債費の負担は平成19年度をピークに確実に減少していますが、今後は大型公共施設等の整備が予定されていることから引き続き注意が必要です。

主な財政指標等の推移

①職員数の推移

基準日:4/1

(単位:人)

	職員 定数	普通 会計
H17	522	487
H18	516	482
H19	495	459
H20	477	440
H21	460	424
H22	435	402
H23	429	396
H24	421	388
H25	410	377
H26	390	358
H27	378	347

-27.6% -28.7%

②基金現在高

基準日:年度末

(単位:千円)

	合計	財政調整 基金	減債基金	特定目的 基金
H17	6,473,842	2,160,654	696,861	3,616,327
H18	7,042,082	2,172,164	217,152	4,652,766
H19	6,836,453	1,897,103	367,739	4,571,611
H20	6,592,632	1,507,782	369,216	4,715,634
H21	6,938,807	2,030,704	370,459	4,537,644
H22	8,525,777	3,250,855	370,976	4,903,946
H23	9,181,835	3,654,246	399,637	5,127,952
H24	8,858,941	3,477,470	341,428	5,040,043
H25	9,626,458	3,681,098	376,414	5,568,946
H26	9,858,652	3,761,706	519,575	5,577,371

減少率
H17→H27

52.3% 74.1%

増加率

54.2% H17→H26

③地方債現在高

基準日:年度末

(単位:千円)

	合計
H17	23,203,665
H18	23,795,648
H19	22,690,452
H20	21,543,820
H21	22,567,685
H22	21,330,228
H23	20,217,243
H24	18,594,026
H25	17,751,795
H26	16,687,090

減少率

-28.1% H17→H26

④経常収支比率

実質公債費比率

将来負担比率

(単位:%)

	経常収 支比率	実質公 債費比 率	将来負 担比率
H17	101.3		
H18	99.9		
H19	100.9	12.4	101.8
H20	97.7	12.1	100.4
H21	94.3	11.6	90.5
H22	86.2	10.2	57.2
H23	89.8	9.0	44.5
H24	91.8	7.4	40.5
H25	87.4	6.2	23.4
H26	87.3	5.2	11.8

⑤主な歳出決算額の推移

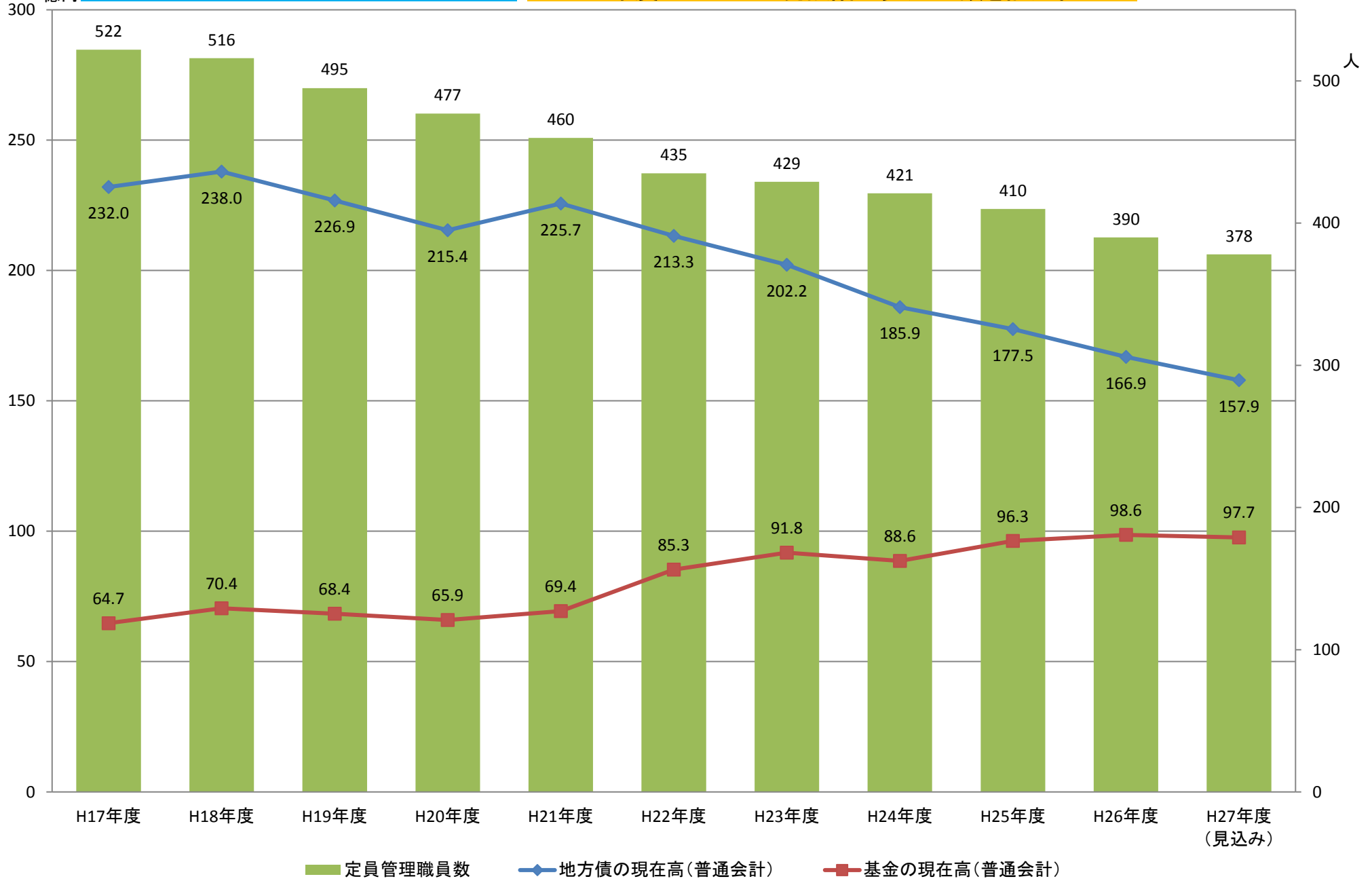
(単位:千円)

	合計	人件費	うち 職員給	公債費	普通建設 事業費	災害復旧 事業費
H17	23,032,171	4,860,776	3,261,143	2,897,523	2,305,120	1,289,024
H18	18,755,011	4,709,058	3,099,028	2,842,448	1,882,293	1,575,950
H19	16,742,243	4,619,171	3,011,220	2,924,096	2,219,746	868,049
H20	17,115,809	4,451,986	2,822,607	2,768,490	1,943,260	1,043,200
H21	20,992,022	4,520,717	2,640,242	2,819,517	5,601,396	245,376
H22	17,374,691	3,826,683	2,441,631	2,825,727	2,303,827	83,331
H23	18,106,336	4,011,015	2,430,251	2,706,963	2,391,431	185,501
H24	18,621,841	4,112,159	2,469,239	2,742,501	1,597,097	1,622,871
H25	21,553,504	3,868,565	2,224,499	2,472,768	2,606,633	3,459,295
H26	20,201,218	3,686,605	2,224,297	2,229,541	2,754,786	2,037,315

行財政改革の努力による推移

※H27年度については現段階の見込み額を記入。

(単位:人、百万円)



◆地方消費税率引上げ分の使徒

(歳入)

・地方消費税交付金(社会保障財源化分) 47,614 千円

(歳出)

・社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 4,260,594 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位:千円)

事業名		歳出決算額	財源内訳				
			特定財源			一般財源	
			国(県)支出金	市債	その他	地方消費税交付金(うち社会保障財源化分)	その他
社会福祉	障害者福祉事業	746,475	538,211		5,211	10,000	193,053
	高齢者福祉事業	283,520	2,903		16,815	3,000	260,802
	児童福祉事業	874,561	360,089		88,811	21,614	404,047
	母子福祉事業	103,476	35,284				68,192
	生活保護扶助事業	646,451	551,190		2,409		92,852
	その他事業	8,175	7,432				743
	小計	2,662,658	1,495,109		113,246	34,614	1,019,689
社会保険	介護保険事業	501,682				5,000	496,682
	国民健康保険事業	264,989	94,997			3,000	166,992
	国民年金事業						
	その他事業						
	小計	766,671	94,997			8,000	663,674
保健衛生	高齢者医療事業	701,414	125,775			5,000	570,639
	病院事業						
	疾病予防対策事業	43,106			1,059		42,047
	医療提供体制確保事業	12,174					12,174
	その他事業	74,571	12,468				62,103
	小計	831,265	138,243		1,059	5,000	686,963
合計		4,260,594	1,728,349		114,305	47,614	2,370,326

平成 27 年 9 月 25 日

普通会計決算及び財政健全化判断比率 の概要（平成 26 年度決算）

（資料）

1	決 算 収 支	1
2	歳 入 決 算 額	2
3	歳 出（目的別）決算額	2
4	歳 出（目的別）決算額	3
5	人 件 費 の 内 訳	3
6	地 方 債 現 在 高	4
7	積 立 金 現 在 高	4
8	経 常 収 支 比 率	5
9	実 質 赤 字 比 率	6
10	連 結 実 質 赤 字 比 率	7
11	実 質 公 債 費 比 率	8
12	将 来 負 担 比 率	9

財政課

1 決算収支

(単位:千円)

年度	歳入総額	歳出総額	形式収支	翌年度繰越財源	実質収支	単年度収支	積立金	繰上償還額	積立金取崩し額	実質単年度収支	【参考】 財政力指数 (3ヶ年平均)
	①	②	③= ①-②	④	⑤= ③-④	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩= ⑥+⑦+ ⑧-⑨	
17	23,078,689	23,032,171	46,518	46,447	71	71	565	0	50,000	△ 49,364	0.245
18	19,594,713	18,755,011	839,702	114,157	725,545	725,474	1,510	0	0	726,984	0.263
19	17,125,792	16,742,243	383,549	12,825	370,724	△ 354,821	6,183	207	777,806	△ 1,126,237	0.276
20	18,358,064	17,115,809	1,242,255	248,446	993,809	623,085	7,783	4,073	782,946	△ 148,005	0.276
21	21,908,433	20,992,022	916,411	160,505	755,906	△ 237,903	2,738	52,902	473,625	△ 655,888	0.268
22	18,369,164	17,374,691	994,473	203,558	790,915	34,979	464,245	133,357	0	632,581	0.253
23	19,125,057	18,106,336	1,018,721	122,134	896,587	105,702	403,391	102,681	0	611,774	0.243
24	19,682,936	18,621,841	1,061,095	243,556	817,539	△ 79,048	202,696	348,328	379,472	92,504	0.237
25	22,535,156	21,553,504	981,652	94,326	887,326	69,787	203,628	201,387	0	474,802	0.236
26	21,292,434	20,201,218	1,091,216	204,330	886,886	△ 440	255,608	69,781	175,000	149,949	0.234

【参考】 普通会計を構成する会計

1. 一般会計
 - 同和对策事業特別会計(平成23年度廃止)
2. 市立こども診療所特別会計(平成21年度～)
 - 畜産開発事業特別会計(平成24年度廃止)
 - 長湯温泉観光施設等特別会計(平成21年度まで)
3. 長湯温泉療養文化館特別会計(平成22年度から)
 - 竹田温泉施設花木月特別会計(平成18年度から平成21年度まで)

平成26年度の実質収支の内訳

(単位:円)

会計名	歳入総額	歳出総額	形式収支	翌年度繰越財源	実質収支
1.	21,152,219,856	20,081,117,897	1,071,101,959	204,329,749	866,772,210
2.	96,924,736	80,770,502	16,154,234	0	16,154,234
3.	50,506,602	46,547,456	3,959,146	0	3,959,146
普通会計	21,292,433,677	20,201,218,338	1,091,215,339	204,329,749	886,885,590

※普通会計の歳入・歳出総額は、普通会計を構成する会計での、重複分と控除した純計を行っているため、単純な合計数値とはならない。

用語解説

- ・ **実質収支**
(趣旨) 歳入歳出差引額(形式収支)から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額
- ・ **単年度収支**
(趣旨) 当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額
- ・ **実質単年度収支**
(趣旨) 実質的にその年度が黒字であったか赤字であったかを見る指標
単年度収支+財政調整基金積立金額+地方債繰上償還額-財政調整基金取崩し額

2 歳入決算額

(単位:千円、%)

年度	地方税	地方譲与税	各種交付金	地方特別交付金	地方交付税	交通安全対策特別交付金	分租金及び負担金	使用料及び手数料	国庫支出金	財産収入	寄付金	譲入金	繰越金	借入金	地方債	合計	うち自主財源の比率
17	1,943,434	551,812	409,830	55,765	8,240,988	6,489	335,881	358,595	4,842,256	39,345	9,440	212,721	2,709,438	653,495	2,709,200	23,078,689	27.0
18	1,882,494	506,552	419,002	42,798	7,988,697	6,631	302,037	366,450	4,033,212	65,142	3,186	557,757	36,516	338,835	3,045,400	19,594,713	17.8
19	1,988,526	348,878	408,372	13,292	7,838,162	6,697	276,064	358,149	3,150,613	84,348	1,882	982,799	103,140	130,848	1,434,022	17,125,792	22.4
20	1,984,973	334,778	366,108	21,904	8,105,100	6,117	272,919	348,896	4,029,548	115,785	4,503	1,310,856	0	188,687	1,267,890	18,358,064	22.4
21	1,914,676	322,551	339,230	40,613	8,442,001	6,261	238,794	348,183	5,317,053	78,158	2,138	913,877	248,446	173,282	3,523,170	21,908,433	17.5
22	1,903,272	311,828	326,286	59,974	9,249,054	6,158	202,773	474,097	3,917,353	68,956	37,926	168,524	160,505	211,558	1,270,900	18,369,164	17.2
23	1,955,219	305,088	303,926	50,317	9,176,346	5,829	200,994	502,811	3,678,104	52,675	52,543	304,057	994,473	244,469	1,298,206	19,125,057	22.2
24	1,865,221	287,018	308,069	3,740	9,562,733	5,593	237,181	507,159	3,722,476	55,084	18,374	976,027	1,018,721	258,606	856,932	19,682,936	24.8
25	1,837,763	274,670	303,819	3,479	9,193,263	5,455	285,787	517,256	6,743,803	76,357	11,296	548,278	1,061,095	274,342	1,398,493	22,535,156	20.1
26	1,853,410	263,438	327,810	3,350	9,019,890	4,770	248,383	542,264	5,771,550	47,075	7,230	996,671	981,652	259,685	965,256	21,292,434	23.0

(注)1 各種交付金は、利子割交付金・配当割交付金・株式譲渡等所得割交付金・地方消費税交付金・ゴルフ場利用税交付金及び自動車所得税交付金の合計額である。

(注)2 一般財源等とは、一般財源に一般財源と同様に使用される財源を加算したものである。

3 歳出(目的別)決算額

(単位:千円)

年度	国会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金	前年度繰上充用	合計
17	202,075	7,580,970	3,638,197	898,232	9,641	2,344,112	412,833	1,086,792	794,971	1,877,599	1,289,024	2,897,725	0	0	23,032,171
18	215,517	3,322,341	3,290,759	962,126	9,462	2,913,071	380,131	984,028	739,498	1,519,494	1,575,950	2,842,634	0	0	18,765,011
19	209,914	2,280,659	3,521,429	879,331	9,429	2,004,058	392,093	951,415	635,834	2,065,760	868,049	2,924,272	0	0	16,742,243
20	210,358	2,790,432	3,670,051	826,043	9,393	2,013,147	471,138	866,222	592,868	1,852,019	1,043,200	2,768,645	0	2,293	17,115,809
21	182,201	4,478,855	3,818,836	848,857	117,109	3,897,790	643,467	1,117,416	663,408	2,159,040	245,376	2,819,667	0	0	20,992,022
22	174,935	3,197,739	4,247,090	1,004,528	148,960	1,683,971	464,142	858,615	658,333	2,027,254	83,331	2,825,793	0	0	17,374,691
23	230,353	3,070,629	4,637,467	1,564,659	267,026	1,737,474	487,919	1,103,244	642,813	1,472,241	185,501	2,707,010	0	0	18,106,336
24	195,130	3,005,561	4,463,924	1,025,681	68,739	2,032,133	463,769	902,171	685,669	1,413,692	1,622,871	2,742,501	0	0	18,621,841
25	182,705	3,872,288	4,524,002	1,220,133	78,285	1,689,255	459,239	1,179,032	1,085,983	1,330,503	3,459,295	2,472,784	0	0	21,553,504
26	184,558	3,661,168	4,688,479	1,006,195	56,744	2,027,004	504,910	1,311,066	1,226,827	1,267,408	2,037,315	2,229,544	0	0	20,201,218

4 歳出(性質別)決算額

(単位:千円)

年度	人件費	人件費のうち職員費	扶助費	公費費	職務的経費 人件費・補助費 公費費	物件費	維持補修費	補助費等	歳出金	投資・出資 及び貸付金	積立金	前年度 繰上費用金	普通建設 事業費	普通建設事業 費のうち補助事 業費	普通建設事業 費のうち専任事 業費	災害復旧 事業費	合計 ①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
17	4,860,776	3,261,143	1,400,988	2,897,523	9,159,287	2,055,309	90,261	5,532,752	1,387,443	2,000	1,210,975	0	2,305,120	639,200	1,665,920	1,289,024	23,032,171
18	4,709,058	3,099,028	1,326,775	2,842,448	8,878,281	1,853,642	46,291	2,064,774	1,352,954	2,000	1,098,826	0	1,882,293	644,133	1,238,160	1,575,950	18,755,011
19	4,619,171	3,011,220	1,365,222	2,924,096	8,908,489	1,905,187	48,907	1,342,151	1,434,237	2,000	13,477	0	2,219,746	1,110,129	1,109,617	868,049	16,742,243
20	4,451,986	2,822,607	1,502,957	2,768,490	8,723,433	1,905,723	43,995	1,477,848	1,516,874	5,100	454,083	2,293	1,943,260	949,940	993,320	1,043,200	17,115,809
21	4,520,717	2,640,242	1,523,789	2,819,517	8,864,023	2,275,446	235,234	1,827,144	1,672,221	36,126	235,056	0	5,601,396	2,682,755	2,918,641	245,376	20,992,022
22	3,826,683	2,441,631	1,854,913	2,825,727	8,507,323	2,309,393	191,653	1,276,266	1,701,023	23,750	978,123	0	2,303,827	881,024	1,422,803	83,331	17,374,691
23	4,011,015	2,430,251	1,957,044	2,706,963	8,675,022	2,423,496	344,543	1,396,324	1,681,399	75,750	932,870	0	2,391,431	1,331,701	1,059,730	185,501	18,106,336
24	4,112,159	2,469,239	2,067,495	2,742,501	8,922,155	2,491,991	187,647	1,412,081	1,728,874	9,950	649,175	0	1,597,097	666,433	930,664	1,622,871	18,821,841
25	3,868,565	2,224,499	2,098,357	2,472,766	8,439,690	2,539,837	106,498	1,279,728	1,797,545	10,000	1,314,278	0	2,606,633	941,417	1,665,216	3,459,295	21,553,504
26	3,686,605	2,224,297	2,175,731	2,229,541	8,091,877	2,669,491	261,135	1,315,218	1,846,955	0	1,224,441	0	2,754,786	1,350,012	1,404,774	2,037,315	20,201,218

5 人件費の内訳(職員等に係るもの)

(単位:千円)

年度	特別職の 給与	職員給 たがひ(前職 員給与除く)	基本給	給料	扶養手当	地域手当	その他の 手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手当	時間外勤務 手当	管理職手当	兩支離職 手当	休日勤務 手当	初任給調整 手当	退職金	共済組合 負担金	災害補償費	合計 ①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	
17	30,209	3,246,122	2,167,447	2,086,373	81,074	0	1,078,675	28,273	34,839	6,594	107,704	18,638	870,689	11,938	0	679,116	570,928	3,534	4,629,909
18	33,330	3,080,507	2,046,008	1,969,289	76,719	0	1,034,499	27,945	36,502	5,290	74,007	14,928	865,529	10,298	0	648,553	547,361	3,871	4,313,822
19	33,427	2,991,022	1,962,906	1,886,863	76,043	0	1,028,116	28,075	37,351	4,664	97,608	15,023	841,310	4,085	0	662,807	525,034	3,417	4,215,707
20	28,666	2,802,906	1,850,571	1,779,461	71,110	0	952,335	27,455	30,539	2,024	81,830	12,862	793,803	3,822	0	658,635	557,120	4,292	4,051,619
21	23,572	2,621,931	1,762,176	1,695,950	66,226	0	859,755	26,977	28,655	2,049	91,651	12,005	694,455	3,963	0	892,511	574,023	3,123	4,115,160
22	24,468	2,437,817	1,668,139	1,605,659	62,480	0	769,678	26,371	28,147	2,048	76,161	12,195	621,470	3,286	0	332,137	571,777	3,095	3,369,294
23	25,126	2,425,900	1,663,266	1,601,915	61,351	0	762,234	26,349	29,147	2,012	70,250	12,970	618,244	3,262	0	453,775	647,969	2,848	3,555,218
24	25,126	2,465,425	1,630,099	1,569,226	59,908	965	835,326	27,594	29,362	3,014	147,289	18,600	601,931	3,150	4,386	543,945	600,047	3,806	3,638,349
25	26,558	2,221,076	1,490,168	1,432,193	56,879	1,096	730,908	28,113	27,358	2,892	78,253	17,866	568,966	3,074	4,386	579,863	553,989	2,602	3,384,088
26	26,480	2,224,297	1,492,817	1,437,810	53,911	1,096	731,480	27,195	26,949	3,036	75,027	19,459	571,636	3,232	4,946	359,317	542,152	3,200	3,155,446

(注)1 退職金は、平成19年度以前は退職手当組合負担金で平成20年度以降は退職手当
 (注)2 児童手当及び子ども手当は、平成22年度決算より扶助費扱いとなったためここには含まない。
 (注)3 地域手当及び初任給調整手当は診療所に勤務する医師

【参考】
 一般職員の増減:基準日4月1日
 平成26年度決算の概況
 平成26年度決算については、歳出決算規模で前年度より12億4,272万2千円減少しています。この要因は、平成24年7月に発生した九州北部豪雨災害に係る災害復旧事業の決算額が前年度より14億2,198万円と大きく減少したことによるものであります。これで、3年かかりましたが、貴州水産施設と公共土木施設の災害復旧事業は完了したこととなります。なお、平成26年度の災害復旧事業には、平成26年2月の大雨により被害を受けた農林施設の復旧支援事業3億6,000万円が含まれています。
 普通建設事業の決算額は、前年度比較で1億4,815万5千円の増となっていますが、消防救急デジタル無線の整備を行った影響等によるものとなっています。
 これら以外の経費では、物件費と維持補修費がそれぞれ129,654千円、154,637千円増加しましたが、物件費については社会保険・税番号制度導入に向けたシステム改修、総合収納システム導入に影響等があり、維持補修費については、市道や公共施設等の老朽化対策に取組んだことによるものであります。
 国の地方財政対策の配達が引き続きいることで、普通交付税等の一般財源総額は、直近5年水準程度を確保できました。これらを踏まえた結果、主な財政指標について、すべて改善しております。
 ※主な普通建設事業費
 補助事業
 社会資本整備総合交付金事業(道路・橋りょう)453,289千円、次世代を担う園芸産地整備事業(野菜・トマト)345,372千円、社会資本整備総合交付金事業(住宅)162,250千円、消防救急デジタル無線整備事業140,581千円
 単独事業
 消防救急デジタル無線整備事業220,986千円、消防庁倉庫建設事業213,258千円、枝支所移転改修事業102,330千円、道路改良事業76,289千円、住宅整備事業94,545千円

6 地方債現在高

(単位:千円、%)

年度	地方債 現在高	うち公共 事業等	うち災害 復旧事業	うち旧合併 特例事業	うち通融 対策事業	うち臨時財政 対策債	標準 財政規模	現債高倍率	住民基本 台帳人口	1人あたり の現在高
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧=①/⑦	⑨	⑩=①/⑨
17	23,203,665	1,705,620	377,366	1,090,200	7,381,723	3,320,885	10,581,008	2.19	27,479	844
18	23,795,648	1,382,152	400,051	2,193,900	7,624,833	3,773,731	10,397,305	2.29	26,916	884
19	22,690,452	1,087,813	442,269	2,596,992	7,051,679	4,111,624	10,184,461	2.23	26,501	856
20	21,543,820	830,374	422,412	3,037,382	6,429,812	4,398,012	10,366,271	2.08	26,023	828
21	22,567,685	619,160	382,372	5,392,286	5,712,943	4,894,350	10,795,587	2.09	25,526	884
22	21,330,228	443,274	325,025	5,429,178	4,947,520	5,538,288	11,627,112	1.83	25,113	849
23	20,217,243	320,364	283,971	5,569,899	4,169,946	5,922,446	11,386,810	1.78	24,623	821
24	18,594,026	235,354	280,765	5,245,294	3,516,176	5,962,103	11,307,013	1.64	24,392	762
25	17,751,795	177,450	310,382	5,426,226	2,939,681	6,288,586	11,238,353	1.58	24,074	737
26	16,687,090	133,849	262,381	5,028,915	2,494,640	6,560,566	11,013,541	1.52	23,570	708

7 基金現在高

(単位:千円、%)

年度	積立金 現在高	うち財政 調整基金	うち減債基金	うち特定 目的基金	特定目的基金 のうち公共施設 等総合管理基 金	特定目的基金 のうち大野川上 流償還負担金 基金	特定目的基金 のうち地域振興 基金	定額運用 基金	標準 財政規模	財政調整用 基金の 現債高倍率
	①= ②+③+④	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩=(②+③)/⑨
17	6,473,842	2,160,654	696,861	3,616,327	489,173	700,990	1,096,000	458,300	10,581,008	0.27
18	7,042,082	2,172,164	217,152	4,652,766	489,603	701,357	2,183,200	441,156	10,397,305	0.23
19	6,836,453	1,897,103	367,739	4,571,611	442,183	702,398	2,183,200	417,718	10,184,461	0.22
20	6,592,632	1,507,782	369,216	4,715,634	443,794	704,064	2,183,200	199,414	10,366,271	0.18
21	6,938,807	2,030,704	370,459	4,537,644	444,372	706,836	2,183,200	204,423	10,795,587	0.22
22	8,525,777	3,250,855	370,976	4,903,946	595,589	708,750	2,183,200	185,167	11,627,112	0.31
23	9,181,835	3,654,246	399,637	5,127,952	646,132	710,382	2,183,200	173,813	11,386,810	0.36
24	8,858,841	3,477,470	341,328	5,040,043	569,578	710,755	2,183,200	172,187	11,307,013	0.34
25	9,626,458	3,681,098	376,414	5,568,946	862,032	711,103	2,183,200	172,190	11,238,353	0.36
26	9,858,652	3,761,706	519,575	5,577,371	909,235	711,556	2,183,200	168,193	11,013,541	0.39

8 経常収支比率

(単位:千円、%)

年度	分子(④+⑤+⑥+⑦+⑧) 歳出・経常一般財源									分母(⑩) 歳入・経常一般財源			経常収支比率
	人件費	公債費	扶助費	義務的経費計	物件費	維持補修費	補助費等	歳出金	経常一般財源⑨	うち 地方税	うち 普通交付税	経常一般財源⑩	
	①	②	③	④= ①+②+③	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	-	-	⑩	
17	4,378,100	2,791,261	406,144	7,575,505	1,296,217	77,351	855,167	1,092,846	10,897,086	1,918,554	7,191,889	10,754,269	101.3
18	4,308,944	2,747,469	424,926	7,481,339	1,198,238	29,444	670,859	1,025,034	10,404,914	1,859,465	7,036,642	10,411,223	99.9
19	4,055,351	2,833,166	416,162	7,304,679	1,117,336	29,825	653,990	1,118,783	10,224,613	1,965,439	6,915,146	10,136,190	100.9
20	4,003,346	2,686,481	439,405	7,129,232	1,139,024	24,991	643,019	1,141,262	10,077,528	1,961,470	7,177,293	10,315,830	97.7
21	3,911,430	2,664,861	448,795	7,025,086	1,205,105	55,026	652,831	1,222,129	10,160,176	1,892,684	7,485,757	10,773,668	94.3
22	3,561,813	2,603,658	558,710	6,724,181	1,352,276	42,258	672,422	1,289,507	10,080,644	1,881,599	8,237,437	11,691,844	86.2
23	3,644,383	2,546,691	548,592	6,739,666	1,402,968	162,285	623,106	1,324,723	10,252,748	1,932,743	8,191,132	11,422,537	89.8
24	3,710,550	2,329,610	629,223	6,669,383	1,441,877	176,867	695,101	1,353,086	10,336,314	1,844,380	8,183,597	11,256,231	91.8
25	3,461,275	2,208,417	594,381	6,264,073	1,476,519	73,512	651,558	1,324,663	9,790,325	1,817,327	8,157,708	11,197,236	87.4
26	3,243,135	2,101,804	558,334	5,903,273	1,534,762	147,644	693,016	1,354,966	9,633,661	1,832,978	7,995,419	11,032,468	87.3

(単位:%)

年度	経常収支比率算入額									経常一般財源 に占める割合	
	人件費	公債費	扶助費	義務的経費計	物件費	維持補修費	補助費等	歳出金	経常収支比率	地方税	普通交付税
17	40.7	26.0	3.8	70.4	12.1	0.7	8.0	10.2	101.3	17.8	66.9
18	41.4	26.4	4.1	71.9	11.5	0.3	6.4	9.8	99.9	17.9	67.6
19	40.0	28.0	4.1	72.1	11.0	0.3	6.5	11.0	100.9	19.4	68.2
20	38.6	26.0	4.3	69.1	11.0	0.2	6.2	11.1	97.7	19.0	69.6
21	36.3	24.7	4.2	65.2	11.2	0.5	6.1	11.3	94.3	17.6	69.5
22	30.5	22.3	4.8	57.5	11.6	0.4	5.8	11.0	86.2	16.1	70.5
23	31.9	22.3	4.8	59.0	12.3	1.4	5.5	11.6	89.8	16.9	71.7
24	33.0	20.7	5.6	59.3	12.8	1.6	6.2	12.0	91.8	16.4	72.7
25	30.9	19.7	5.3	55.9	13.2	0.7	5.8	11.8	87.4	16.2	72.9
26	29.4	19.1	5.1	53.5	13.9	1.3	6.3	12.3	87.3	16.6	72.5

用語解説

・経常収支比率

(趣旨) 人件費・扶助費及び公債費などの経常経費に、地方税・普通交付税を中心とした経常一般財源がどの程度充当されたかを見る指標で、この比率が低いほど、普通建設事業費などの臨時経費に充当できる一般財源があり、財政構造が弾力性に富んでいることとなります。

$$\text{(算式)} \quad \frac{\text{経常経費充当の一般財源額等}}{\text{経常一般財源等総額+臨時財政対策債}} \times 100\%$$

9 実質赤字比率

(単位:千円、%)

年度	分子		分母		実質赤字比率	
	実質収支額		標準財政規模		実質赤字額(正の数)による比率	実質黒字額(負の数)による比率
	①		②		①/②	
19	370,724		10,184,461		—	△ 3.64
20	993,810		10,366,271		—	△ 9.58
21	755,906		10,795,587		—	△ 7.00
22	790,885		11,627,112		—	△ 6.80
23	896,587		11,386,810		—	△ 7.87
24	817,539		11,307,013		—	△ 7.23
25	887,326		11,238,353		—	△ 7.89
26	886,886		11,013,541		—	△ 8.05

【参考】

	H26実質収支額
一般会計	866,772
市立こども診療所特別会計	16,155
長湯温泉療養文化館特別会計	3,959
計	886,886

用語解説

- ・ **実質赤字比率**

(趣旨) 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

(算式)

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額(正の値)}}{\text{標準財政規模}}$$

- ・ **早期健全化基準**

現行の地方債協議・許可制における許可制移行基準(2.5%~10%)と財政再生基準(20%)との中間の値をとり、市町村については財政規模に応じ11.25%~15%となっている。

なお、平成20年度決算から、早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければならない。

- ・ **財政再生基準**

起債制限基準の値(20%)となっている。

なお、平成20年度決算から、財政再生基準以上の場合には、財政再生計画を定めなければならない。

10 連結実質赤字比率

(単位:千円、%)

年度	分子				分母 標準財政規模	連結実質赤字比率	
	一般会計等 の実質収支額	公営事業会計 の実質収支額	資金不足額 又は資金剰余額	計		連結実質赤字額 (正の数)による 比率	連結実質黒字額 (負の数)による 比率
	①	②	③	④=①+②+③		④/⑤	
19	370,724	△ 41,395	244,543	573,872	10,184,461	—	△ 5.63
20	993,810	166,231	240,883	1,400,924	10,366,271	—	△ 13.51
21	755,906	16,114	271,077	1,043,097	10,795,587	—	△ 9.66
22	790,885	1,232	268,773	1,060,890	11,627,112	—	△ 9.12
23	896,587	15,391	271,605	1,183,583	11,386,810	—	△ 10.39
24	817,539	253,798	274,953	1,346,290	11,307,013	—	△ 11.90
25	887,326	109,572	287,876	1,284,774	11,238,353	—	△ 11.43
26	886,886	168,173	271,406	1,326,465	11,013,541	—	△ 12.04

【参考】

一般会計等	H26実質収支額
一般会計	866,772
市立こども診療所特別会計	16,155
長湯温泉療養文化館特別会計	3,959
計	886,886

保険等事業会計	H26実質収支額
国民健康保険特別会計	2,995
後期高齢者医療特別会計	297
介護保険特別会計	164,881
計	168,173

公営企業(法適用)	H26資金剰余額
水道事業会計	271,212

公営企業(法非適用)	H26実質収支額
簡易水道事業特別会計	48
農業集落排水事業特別会計	72
浄化槽整備推進事業特別会計	46
国民宿舎久住高原荘事業特別会計	27
国民宿舎直入荘事業特別会計	1
計	194

合計	1,326,465
----	-----------

用語解説

・ 連結実質赤字比率

(趣旨) 全会計を対象とした実質赤字(又は資金不足額)の標準財政規模に対する比率。

(算式)
$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額(正の値)}}{\text{標準財政規模}}$$

※ 連結実質赤字額とは、各会計毎の実質赤字額及び資金不足額の合計額から実質黒字額及び資金剰余額の合計額を控除した額。

・ 早期健全化基準

実質赤字比率の早期健全化基準(11.25%~15%)に、公営企業会計等における経営健全化等を踏まえ5%を加算した値で、市町村については財政規模に同じ16.25%~20%となっている。

なお、平成20年度決算から、早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければならない。

・ 財政再生基準

実質赤字比率の財政再生基準(20%)に10%を加算した値(30%)となっている。

なお、平成20年度決算から、早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければならない。

11 実質公債費比率

(単位:千円、%)

年度	分子			分母			実質公債費比率			
	①元利償還金の額(繰上償還を除く) ②積立不足額を考慮して算定した額 ③満期一括償還地方債1年当たり元金償還金相当額 ④公営企業償還財源繰入額 ⑤一部事務組合等地方債への補助・負担金 ⑥公債費に準じる債務負担行為 ⑦一時借入金利息 ⑧特定財源の額 ⑨事業費補正算入公債費 ⑩事業費補正算入公債費(準元利償還金) ⑪災害復旧費等に係る基準財政需要額 ⑫災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利償還金) ⑬密度補正に係る基準財政需要額 ⑭密度補正準元利償還金 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)-(⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭)			⑮事業費補正算入公債費 ⑯事業費補正算入公債費(準元利償還金) ⑰災害復旧費等に係る基準財政需要額 ⑱災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利償還金) ⑲密度補正に係る基準財政需要額 ⑳密度補正準元利償還金 (⑮+⑯+⑰)-(⑱+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓)			単年度		3か年平均	
	当該年度-2	当該年度-1	当該年度	当該年度-2	当該年度-1	当該年度	当該年度-2	当該年度-1	当該年度	当該年度
19	1,047,093	1,054,756	1,086,510	8,757,761	8,574,141	8,314,552	11.9	12.3	13.0	12.4
20	1,043,619	1,075,901	966,151	8,574,141	8,314,552	8,534,494	12.1	12.9	11.3	12.1
21	1,075,901	966,151	960,955	8,314,552	8,534,494	8,931,918	12.9	11.3	10.7	11.6
22	966,151	960,955	845,688	8,534,494	8,931,918	9,710,955	11.3	10.7	8.7	10.2
23	960,955	845,688	708,958	8,931,918	9,710,955	9,393,510	10.7	8.7	7.5	9.0
24	845,688	708,958	568,558	9,710,955	9,393,510	9,353,399	8.7	7.5	6.0	7.4
25	708,958	568,558	487,220	9,393,510	9,353,399	9,335,412	7.5	6.0	5.2	6.2
26	568,558	487,220	403,079	9,353,399	9,335,412	9,109,890	6.0	5.2	4.4	5.2

用語解説

・実質公債費比率

(趣旨) 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \text{ 及び} \text{準元利償還金} \text{ に係る} \text{基準財政需要額} \text{ 算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} + \text{準元利償還金} \text{ に係る} \text{基準財政需要額} \text{ 算入額})} \text{ の3か年平均}$$

・早期健全化基準

現行の地方債協議・許可制において一般単独事業の許可が制限される基準(25%)。
 なお、平成20年度決算から、早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければならない。

・財政再生基準

現行の地方債協議・許可制における公共事業等の許可が制限される基準(35%)。
 なお、平成20年度決算から、財政再生基準以上の場合には、財政再生計画を定めなければならない。

※基礎数値

17	18(19年度算定数値)	19(19年度算定数値)	18(20年度算定数値)	19(20-21年度算定数値)	20	21	22	23	24	25	26	
2,895,593	2,840,844	2,922,117	2,840,844	2,921,910	2,764,417	2,753,282	2,689,521	2,604,282	2,394,173	2,271,381	2,159,760	①元利償還金の額(繰上償還を除く)
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	②積立不足額を考慮して算定した額
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	③満期一括償還地方債1年当たり元金償還金相当額
72,345	120,181	125,785	109,031	115,175	122,378	138,859	139,908	139,585	177,157	163,953	189,306	④公営企業償還財源繰入額
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	⑤一部事務組合等地方債への補助・負担金
23,964	23,964	20,376	23,964	20,376	12,455	42,571	39,506	36,924	34,664	35,262	35,670	⑥公債費に準じる債務負担行為
1,930	1,604	1,979	1,604	1,979	0	0	747	0	0	0	0	⑦一時借入金利息
123,492	108,673	113,838	108,660	113,630	101,322	110,088	107,838	78,533	83,822	80,435	78,006	⑧特定財源の額
530,404	531,627	487,882	531,627	487,882	428,363	360,122	342,145	329,820	322,497	311,839	300,288	⑨事業費補正算入公債費
21,309	3,807	3,369	3,907	1,339	50	2,983	8,693	13,122	31,926	33,287	35,163	⑩事業費補正算入公債費(準元利償還金)
1,253,227	1,202,788	1,297,309	1,202,788	1,297,309	1,318,877	1,423,086	1,493,129	1,583,617	1,539,107	1,503,100	1,514,355	⑪災害復旧費等に係る基準財政需要額
372	66,580	63,666	66,580	63,666	64,235	60,070	52,360	47,202	39,685	33,265	33,034	⑫災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利償還金)
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	⑬密度補正に係る基準財政需要額
17,935	18,362	19,713	18,362	19,713	20,252	17,418	19,830	19,539	20,397	20,950	20,831	⑭密度補正準元利償還金
2,799,581	2,845,050	2,801,493	2,845,050	2,801,493	2,750,788	2,629,760	2,527,475	2,568,272	2,505,584	2,451,752	2,419,766	⑮標準税収入額等
7,191,889	7,036,642	6,915,146	7,036,642	6,915,146	7,177,293	7,485,757	8,237,437	8,191,132	8,183,597	8,157,708	7,995,419	⑯普通交付税額
589,538	515,613	467,822	515,613	467,822	438,190	680,070	882,200	627,406	617,832	628,893	598,356	⑰臨時財政対策債発行可能額

12 将来負担比率

(単位:千円、%)

年度	分子(①+②+③+④+⑤+⑥+⑦-⑧-⑨-⑩)											分母(⑪-⑫)			将来負担比率
	地方債 の現在高	債務負担 行為支出 予定額	公営企業 債等繰入 見込額	組合等負担 等見込額	退職手当 負担見込額	土地開発 公社負担 見込額	第三セク ター等負担 見込額	充当可能 基金	充当可能 特定繰入	基準財政 需要額繰入 見込額	計	標準財政 規模	算入公債費 等の額	計	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		⑪	⑫		
19	22,690,452	2,344,811	1,269,756	0	5,121,138	0	97,270	4,892,724	593,710	17,571,450	8,465,543	10,184,461	1,869,909	8,314,552	101.8
20	21,543,820	2,726,100	1,612,380	0	4,860,061	0	55,168	4,565,353	475,458	17,186,889	8,569,829	10,366,271	1,831,777	8,534,494	100.4
21	22,567,685	2,674,266	1,764,622	0	4,568,750	0	31,306	4,813,957	459,410	18,245,176	8,088,086	10,795,587	1,863,669	8,931,918	90.5
22	21,330,228	2,560,513	1,773,298	0	4,523,620	0	16,594	6,415,526	434,149	17,798,575	5,556,003	11,627,112	1,916,157	9,710,955	57.2
23	20,217,243	2,524,729	1,797,304	0	4,396,557	0	9,581	7,078,106	519,213	17,158,946	4,189,149	11,386,810	1,993,300	9,393,510	44.5
24	18,594,026	2,741,769	1,721,642	0	4,193,599	0	7,085	6,743,993	518,343	16,207,395	3,788,390	11,307,013	1,953,614	9,353,399	40.5
25	17,751,795	2,671,472	1,639,385	0	3,910,242	0	466	7,602,748	447,948	15,733,296	2,189,368	11,238,353	1,902,941	9,335,412	23.4
26	16,687,090	2,639,688	1,618,348	0	3,601,220	0	229	8,154,165	389,978	14,921,679	1,080,753	11,013,541	1,903,651	9,109,890	11.8

用語解説

・ 将来負担比率

(趣旨) 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。

(算式)
$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額繰入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額繰入額})}$$

・ 早期健全化基準

実質公債費比率の早期健全化基準(25%)に相当する将来負担額の水準と平均的な地方債の償還年数を勘案した値(350%)。なお、平成20年度決算から、早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければならない。